

奈良・奥大和で輝く人々とその暮らしのエッセンスをお届けする情報冊子

# 深深

この地に根ざし、生きる  
しんしん  
5号  
2023.Spring

おくやまと  
人生リノベーション・  
ストーリー。

宇陀市の薬膳カレー店と  
十津川村の絶景カフェ。  
導かれるように奥大和に移住し、  
自分らしい人生を新たに歩み始めた  
店主のお二人にお話を伺いました。

Case 01 [宇陀市]  
トオルカリー  
透咖喱-TORU CURRY-

Case 02 [十津川村]  
ムスヒ  
musubi

奈良・奥大和



心と体をリセットする  
「生まれかわりの聖地」。

熊野古道のひとつ 大峯奥駈道。  
奥大和の玄関口にして、  
古来より修験道の行者たちが  
参詣を捧げてきた聖地です。

熊野へ至る道の起点でもある吉野山は、  
世界平和や人々の安寧が祈願されています。

護摩供や勤行が毎日行われ、  
日々の雜念や煩惱を洗い流してくれるよう。

凛とした空気に響く読経や揺らめく炎は、  
深き森の中に神仏を見出しました。  
いま奥大和に息づいています。  
いにしえびとの想いは、

金峯山寺の護摩供

## 奥大和移住定住交流センター「engawa」

地方と都会、若者と大人、移住者と奥大和地域の方々など、いろいろな場所とひとを繋ぐ「engawa」は、奥大和の木工品や家具、特産品などの展示販売のほか、Wi-Fi完備のコワーキングスペース、打ち合わせスペースとして、誰でも利用可能なオープンスペースです。併設の相談窓口は、奥大和での生活や就業、空き家についてなど移住についてのタイムリーな情報が集まっています。

所在地 奈良県橿原市常盤町605-5 ☎ 0744-48-3019 [時間] 9時30分～18時 [休日] 土・日曜、祝日、年末年始

本紙は、奥大和地域に暮らしている方々に向け、地域で活躍する人やその暮らし、営みなどを紹介し、自らが住む地域の魅力を実感していただくために発行しています。

発行・問合せ:  
奥大和移住・定住連携協議会  
(事務局:  
奈良県奥大和移住・交流推進室  
☎ 0744-48-3016)

Local Life  
in Nara Okuyamato

## 奈良・奥大和 おくやまと 人生リノベーション・ストーリー。

四方を山に囲まれ大和高原が広がる宇陀市は、大和野菜をはじめとした様々な野菜の生産地として知られています。そんな宇陀市で2022年8月にオープンしたのが、無農薬野菜を使った薬膳カレーを提供する透咖喱（トルカリ）です。店主の入江透さんは大阪出身、前職では家具メーカーに勤めましたが、多忙を極める生活を見直すようになったそう。「実は、小さい頃は母の影響で自然食にこだわった食生活をしていたんですよ」と入江さん。その記憶やお母さんからのアドバイスをもとに食生活を改善し、健康な心身を取り戻しました。ちょうどその時期にコロナ禍が重なり、もともと飲食店での独立を夢見ていた入江さんは一念発起。宇陀市の仕事づくり推進隊員の募集を見つけ、応募しました。食と農の起業に特化した募集はまさにうってつけの条件でしたが、面接を受けた当初は具体的なお店の概要は固まっていなかったそうです。その後、大和高原野菜の第一人者や自然療法の先生など地域の先輩たちとの出会いを経て、現在のお店のコンセプトにたどり着きました。「お客様の体质や体調にあわせた料理を提供したい」

と入江さん。予約の際に記入してもらった体質チェックシートをもとに、その人にぴったりの一皿を提供するというから驚かです。いずれは薬草の量り売りや無農薬野菜を販売する場所を作るなど、宇陀の観光を盛り上げたいと夢を語ってくれました。

## 「食の大切さを伝えたい」 心身を整える薬膳カレー

入江 透さん

### Case 01 宇陀市 透咖喱-TORU CURRY-



①住宅街に併む店舗。窓の外には自家栽培の野菜やハーブが  
②アーユルヴェーダに基づいたチェックシートで3タイプの体質を判断  
③宇陀産の薬草が入ったオリジナルフレーバーの薬草袋  
④いい香りに満ちる店内にはスパイスやハーブが数十種類  
⑤宇陀にきて人生が動き始めた透さんと入江さん  
⑥体質改善コースでは2種のカレー前菜、サラダなどを楽しめる



空間も地産地消で  
手づくりです！

QRコード  
@UDA\_TORUCURRY

透咖喱-TORU CURRY-

園 宇陀市大宇陀追間 56-1

☎ 070-8972-1256

HP http://torucurry.com/

## 不思議な縁に導かれて たどり着いた絶景カフエ

玉置茜さん

奈良県の最南端にあり、日本一大い村として知られる十津川村。95%以上が森林という村の中でも、ひときわ美しい景色が広がる場所に「musuhi」があります。ここは、手作りのパンやカレー、焼き菓子などが

奈良市内から移住してきた玉置茜さんです。以前はドレスや洋服の作家として活動していましたが、人間関係の悩みから体調を崩してしまった時期があつたそう。精神的に落ち込んでいた時に「誰も自分のことを知らないところでリセットしたい」と、母の実家があつた十津川村への移住を決意。地域交流施設「くらら」の企画支援員として地域おこし協力隊に

参加し、村の人たちとの関係を築いてきました。そして、施設の運営や企

画を通じて出逢った夫の晋也さんと

2020年秋に結婚。空き家だった晋

也さんの母方の実家を、役場や地元

の人たちのサポートを得ながら約9

ヶ月をかけて改装し、2021年7月にカフェのオープンにこぎつけました。

憧れていた田舎暮らしですが、住んでみて初めてわかることがありますね」と玉置さん。日々の雑事に追われ日があつといつ間に過ぎてしまうけれど、移り行く山の風景に季節の変化を感じ、充実した日々を過ごし

### 玉置さんの 暮らしのこだわり

カフェと平行して洋服づくりも継続して行っている玉置さん。「草木染めの美しい布が店内にはいくつも。草木染めの体验イベントなども開催し、好評を博しているそうです。



ているそう。「いつかここが、誰かの心の支えになるような場所になれば」と玉置さん。今後は、パンや洋服づくりの体验イベントなどを開催して、人と人の縁を結ぶ場所にしていきたいと語ってくれました。

### Case 02 十津川村 musuhi



①ナチュラルな風合いの店舗は玉置さんの手づくり ②客席から見える山の景色。扉の枠が額縁のようになっていて美しい ③自家製かりんシロップのドリンクでほっこり ④店内は実家の居間のような居心地のいい空間 ⑤眺めのいい店は階段を登った高台に ⑥SNSで話題になったという「白い二層のチーズケーキ」

奈良の母方の実家を、役場や地元の人たちのサポートを得ながら約9ヶ月をかけて改裝し、2021年7月にカフェのオープンにこぎつけました。

憧れていた田舎暮らしですが、住

んでみて初めてわかることがありますね」と玉置さん。日々の雑事に追わ

れ日があつといつ間に過ぎてしまう

けれど、移り行く山の風景に季節の

変化を感じ、充実した日々を過ごし

musuhi  
musuhi

園 吉野郡十津川村川津 744

HP https://www.instagram.com/\_musuhi\_

QRコード  
@MUSUHI